

COP15（於コペンハーゲン）における主な成果と概要

平成 22 年 1 月 26 日
環 境 省

COP15は予定を1日延長して昨年12月19日に終了した。本会合において、米中を含む主要排出国の参加及び途上国支援を含む、コペンハーゲン合意について締約国は留意することが決定されたことは、大きな成果である。

I. 成果

本会合において我が国が目指したものは、政治合意において、

- ①米中を含む主要排出国が参加する公平かつ実効性のある枠組みを得ること、
 - ②適応、キャパシティビルディング分野などでの途上国支援の道筋を付けること、
- であった。

これら2つの課題に対して、コペンハーゲン合意（下記参照）としてまとめられたものは、数多くの国からの支持を得られたことから、今後の交渉の基盤の一つとして重要な位置を占めるべきものと考えられる。

II. 概要

1. コペンハーゲン合意

①削減目標・行動（緩和）

（1）中期目標

先進国は排出削減目標、途上国は削減行動（NAMA）を別表へ記載すべく条約事務局に本年1月31日までに届出。また、途上国の削減行動についてMRVを確保。支援されていない行動については、国内でMRVを確保し、国際的に報告し、協議等を受け付けることとなった。

(2) 長期目標

長期的な排出削減の指針として、温度上昇を 2°C 以内に抑えるべく削減行動をとることとされた。なお、2050 年半減は盛り込まれなかったが、IPCC 報告書に代表される科学に基づき地球全体の排出量の大幅な削減が必要とされた。

② 資金

(1) 短期資金

先進国は共同で、2010 年から 2012 年までの期間に、300 億ドルの新規で追加的な公的資金を拠出することを約束。我が国は、鳩山イニシアティブとして 3 年間で 150 億ドル(うち公的資金 110 億ドル)の途上国支援を表明。

(2) 長期資金

2020 年までには毎年 1000 億ドル規模の資金を動員していくとの目標に約束。

2. 今後の進め方について

(1) 京都議定書附属書の改正の取扱い

京都議定書特別作業部会 (AWG-KP) の作業を継続し、CMP6 で結論を得ることになった。

(2) 包括的な枠組みの扱い

包括的な枠組みについては条約特別作業部会 (AWG-LCA) の作業を継続し、COP16 で結論を得ることになった。

※COP16/CMP6 は 2010 年 11 月メキシコにて開催

(参考 1)

COP15 の最終日に開かれた全体会で、一部の国の反対があったため、全会一致での採択そのものには至らなかったが、「締約国は、コペンハーゲン合意 (Copenhagen Accord) に留意する (take note)」ことが決定された。

この合意は、多くの国々からの支持が得られており、今後の交渉の基盤の一つとして重要な位置を占めるものである。

I. 賛成

下記の国々は、合意の作成のための首脳級会合に参加したことから、支持見込み。なお更に、これ以外の多数の国が支持を表明すると思われる。

デンマーク、英国、ドイツ、フランス、日本、米国、豪州、スウェーデン、スペイン、欧州委員会、ロシア、ノルウェー、韓国、メキシコ、南アフリカ、ブラジル、中国、インド、アルジェリア (アフリカグループ代表)、レソト、グレナダ (島しょ国代表)、インドネシア、バングラディッシュ (低開発国代表)、コロンビア、モルディブ

II. 反対国

議場において、明確に反対の立場を表明したのは、以下の国々。

ベネズエラ、キューバ、ニカラグア、ボリビア、スーダン

(参考 2)

COP15 期間中の鳩山総理の動き(17~18日)

12月17日(木)

- 現地到着後、直ちに議長たるデンマークのラスムセン首相、温家宝中国首相と協議、COP15で有意義な成果を出すため働きかけ。
- 深夜、緊急に招集された非公式の首脳級会合において、政治合意の必要性を強く主張、サルコジ大統領など多くの首脳の賛同を得て、今回の合意に向けた動きを作り出した。

12月18日(金)

- 首脳級公開会合においても演説を行い、政治合意の必要性を訴えた。また同演説で、鳩山イニシアティブの具体的表明(2012年までに公的資金約110億ドル、官民あわせ約150億ドル)に触れた際、各国は拍手で歓迎。
- 断続的に開催された非公式首脳会合に積極的に参加し、夜には予定の出発時間を変更してまで、政治合意作成に貢献。その過程でオバマ米大統領とも密接に連携。

(参考3)

COP15 期間中の小沢環境大臣の動き(12~18日)

12月12日(土)

- 非公式閣僚会合夕食会

12月13日(日)

- アンブレラグループ打ち合わせ
- 非公式閣僚会合

12月14日(月)

- UNFCCC デボア事務局長との会談
- EU(スペイン)ロドリゲス気候変動担当大臣との会談
- デンマーク ボー・リデゴ首相府顧問との会談
- 国内 NGO との対話
- ◎ COP 全体会合出席・発言
- インド ラメシュ環境森林大臣との会談

12月15日(火)

- グレナダ デイビッド外務大臣(AOSIS)他との会談
- メキシコ ケサダ環境・天然資源大臣との会談
- UNEP シュタイナー事務局長との会談
- 豪 ペニー・ウォン気候変動担当大臣との会談
- インド ラメシュ環境森林大臣との対話
- アフリカ諸国との会談
アルジェリア(ラフマニ環境大臣)、コンゴ、
ナイジェリア 及びジンバブエ
- ◎ ハイレベルセグメント開会イベント出席

12月16日(水)

- 国際 NGO との対話
- 豪 ペニー・ウォン気候変動担当大臣との会談
- ◎ COP 全体会合出席
- アメリカ トッド・スターン気候変動特使との会談
- 韓国 イ・マニ環境大臣との会談
- COP15議長 コニー・ヘデゴー・デンマーク COP15 大臣との会談
- グレナダ デイビッド外務大臣(AOSIS)との会談
- アフリカグループ アルジェリア(ラフマニ環境大臣)との会談
- インド ラメシュ環境森林大臣との対話
- ◎ 公式記者会見(鳩山イニシアティブの発表)

12月17日(木)

- インド ラメシュ環境森林大臣との対話
- コペンハーゲンに到着した総理への状況報告
- 首脳・閣僚級会合に出席しスピーチ
- 日本デンマーク首脳会談に同席
- 日中首脳会談に同席
- 非公式協議に参画する総理を補佐

12月18日(金)

- 非公式協議に参画する総理を補佐
- デンマーク首相主催非公式首脳級行事に出席
- 首脳・閣僚級会合に出席

12月19日(土)

- 全体会合に出席・発言
- アルジェリア(ラフマニ環境大臣)との対話